

テーマ【 わたしたちのくらしと水 】

茨木市立太田小学校

《学習のねらい》

- ・自分の生活と水の関わりに関心を持ち、水の大切さに気づき、水を大切にしたり自分たちのくらし方を工夫したりすることができるようにする。
- ・身近な水環境についての学習を通じて、世界規模の環境問題を考えるきっかけとなるようにする。



《学習の流れ》

実施時期 5月～12月

	学習活動の主な内容	指導のポイント
1 社会科	水について学習する ・校内の蛇口調べや、わたしたちが普段の生活の中でどれくらいの水を使っているのかを調べる。	■蛇口調べや普段使っている水の量など、身近なことから取り組むことで、水についての興味関心が持てるようにする。
2 社会科	水はどこからきているのかを調べる ・私たちが使っている水はどこから来てどこへ行くのかについて調べ、交流する。	
3 社会科	地域の浄水場へ見学に行く ・地域の浄水場へ行き、水の循環について学習し、調べたことや分かったことについて新聞にまとめて発表する。	■地域の浄水場に見学に行くことで、水の循環について身近に考えられるようにする。 ■新聞にまとめ、交流することで、学習したことを自分の生活に生かせるようにする。
4 総合的な学習の時間	水の大切さを知り、自分たちにできることについて考える ・わたしたちのくらしの中で、水を大切に使うためにどのような工夫ができるか、新聞にまとめて交流する。	
5 総合的な学習の時間	世界の水について知ろう ・日本だけでなく、世界の水事情についての話を聞き、世界の水について知る。（JICA 交流）	■日本だけでなく、世界の環境問題を考えられるようにする。

《活用したプログラムや教材、ゲストティーチャー 等》

浄水場見学、JICA交流

《成果（児童の感想や反応 等）》

- ・子どもたちが主体となって水について考えたり調べたりし、水を大切にしようという意識が高まった。また工夫して生活し、進んで節水に取り組むようになった。
- ・JICA交流で世界の水についても学習したことで、自分の身の回り(日本)だけでなく、世界の環境問題を知ることができた。

